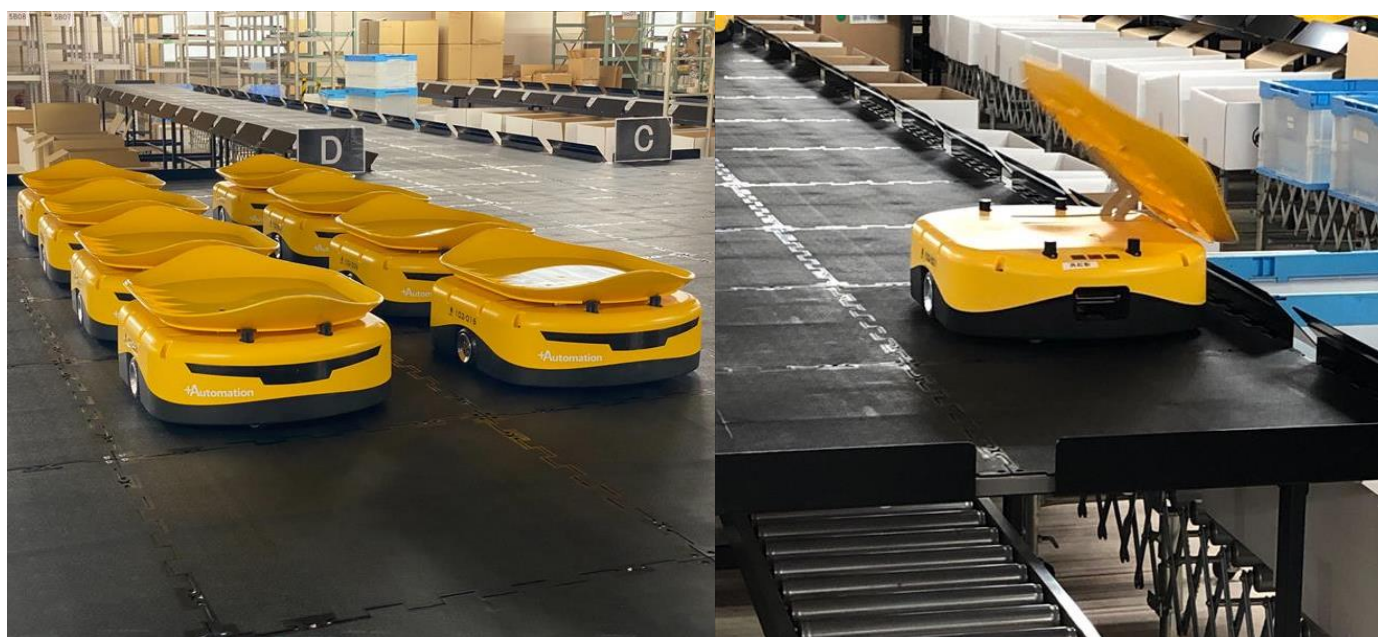


2021年5月10日
澁澤倉庫株式会社

物流ロボット・サブスクリプションサービスを活用したハイブリッド業務フローの導入

現場力と最新テクノロジーの融合により、波動に強い物流サービスの高度化を推進している当社（澁澤倉庫株式会社：東京都江東区、取締役社長：大隅毅）は、物流ロボットのサブスクリプション型サービス「RaaS（Robotics as a Service）」を展開するプラスオートメーション株式会社（本社所在地：東京都港区、代表取締役社長：飯間卓、以下「+A」）と共同で、物量変動への適切な対応を可能とする、ソーティングロボットシステム「t-Sort」とマンパワーを融合したハイブリッド型業務フローを構築し、松戸営業所（所在地：千葉県松戸市稔台6丁目7-1）に導入しました。導入にあたっては、当社のWMS（倉庫マネジメントシステム）と+Aの庫内実行システム「+Hub」を連携させることにより、限られたスペースでかつ効率的にB2B業務のみならずB2C業務への対応が可能となりました。



+AがRaaSで提供するソーティングロボットシステム「t-Sort」

松戸営業所は、少量多品種商品を中心に様々な荷主様へ物流サービスを提供してきました。これまで業務プロセス改善やテクノロジー等を活用した効率的なロケーション運営、作業の見える化による荷役作業の効率化等、物流サービスの高度化に取り組んできました。今回、+Aのt-Sortを活用したRaaSは、アパレル商品のシーズン入替時返品等の、一時的な大量仕分け作業等においても圧倒的な効果を発揮しました。当社では先進テクノロジーと、それを活用する現場力の融合を更に進め、他拠点への展開も進めてまいります。

本件に関する問い合わせ先：澁澤倉庫 総合企画部 加澤

Email : release@shibusawa.co.jp

<澁澤倉庫株式会社について <https://www.shibusawa.co.jp>>

澁澤倉庫は渋沢栄一が1897年に現本社所在地で、渋沢家直営事業として創業しました。現在、総合物流企業として全国約60拠点、総延床面積約200千坪を有し、海外では中国、香港、ベトナム、フィリピンを始めグローバルに物流業務を展開しております。当社は今まで培ってきたノウハウをもとに3PL事業者としてお客様のサプライチェーンの運営・管理に留まらず、計画・設計まで行い、お客様の経営戦略に基づいた物流戦略の立案と最適なオペレーションの提案を得意としております。創業者の精神を受け継ぎ、正しい道理で追求した利益だけが永続し、社会を豊かにできると考え、物流を越えた新たな価値創造により持続可能で豊かな社会の実現を支えてまいります。

<プラスオートメーション株式会社について <https://plus-automation.com>>

プラスオートメーションはRaaS企業として、三井物産と日本GLPの出資を受け2019年6月に設立されました。2020年9月には豊田自動織機に第三者割当増資を実施し、さらなるサービス強化を加速しています。現在t-Sortシリーズを中心に日本国内で約1,200台のロボット導入を完了、今後は多様なロボットを組み合わせたRaaSを展開していきます。2020年11月には顧客課題解決、+A人材とサービスの開発、物流業界全体の高度化への貢献という3点を目的にデモ兼R&Dスペース「cube」を東京都品川区に開設、順次多様なロボット導入と連携を実施しています。（cube住所：東京都品川区勝島1丁目5-2 1勝島1号倉庫1F）今後も「テクノロジーで次代のロジスティクスを共に創る。」をビジョンに、新たな物流サービスの提供を加速します。

以上